

2022年 7月 第120号

産業文化通信

J C I 産業文化協同組合 技能実習生受入事業部発行

東京都千代田区神田鍛冶町 3-6-7 6階

電話：03-3525-4838



今年は、関東地方で観測史上一番の短さで梅雨が明け、暑い日が続いております。海外からの観光客受入れ再開する国も増えており、今年の夏は海外で過ごされる方もいらっしゃるかと思います。長かったコロナも、このまま収束に向かってくれればと、祈っております。

世界情勢は、ロシアのウクライナ侵攻の影響による食料危機や、燃料・素材の高騰など、まだ問題が山積の状況ですが、一歩ずつ解決に向けて歩んで行って欲しいものです。

実習生と円安の影響について



最近、実習生受入れ企業様から、「実習生のやる気が下がっている。」
「実習生が途中帰国したいと言っている。」「実習生から昇給の要望が
来ている」といった相談が増えております。

皆様すでにご存じの通り、今年に入ってから急速な円安が進んでおり、6月には1ドル135円で1998年以来24年ぶりの水準とも報道されました。今日現在(6/30)の為替は、更に円安が進み1ドル=136.3円です。24年前と言えば、実習生達が子供の頃か、もしくはまだ生まれる前です…。

日本で生活する私たちには、物が値上がりする等、影響は限定的ですが、日本のお給料を海外に送金している実習生と、その家族にとっては、今回の円安はかなり大きな影響を及ぼしています。

例えばベトナム人実習生が10万円を母国に送金した場合

- 去年の6月に母国に送金 = 20,700,000 ドン
- 今年の6月に母国に送金 = 17,000,000 ドン -3,700,000 ドン (-17%)

円安の影響は、ベトナム人実習生だけでなく、中国・フィリピン・タイ・カンボジアの実習生も同様です。(ミャンマーは、国内情勢の影響でチャットがかなり値下りしたので影響は少ないですが、それでも、日本円はそのミャンマーチャットより更に値下がりしており、同じく円安の状況です。)

• 実習生の感覚では、時給1,000円が17%減って830円になってしまった・・・

と、感じてしまっているかも知れません。

もちろん、海外で仕事をする以上は為替の影響は避けて通れませんし、円高の時には送金額も増えますが、3年間(もしくは5年間)しか日本にいない実習生にとっては、レートが良くなるまで送金せずに日本円で貯金してけば良い、というような、長い目で今後の好転を待つのは難しいかもしれません。

また、円安により新規実習生の応募数にも影響が出始めております。

組合としては、日本政府の一日も早い対策を期待しております。